

産 業 政 策

日本経済はコロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつあるものの、すでに多くの事業者が売上の減少等企業活動に影響を受けている中で、エネルギー価格、物価高騰により、市内中小企業者にとっては厳しい状況が続いている。

このような状況下で、制度融資等による資金面での事業継続支援を行うとともに、引き続き企業立地の推進による雇用の創出、デジタル人材の育成、ものづくりをベースとした企業のイノベーションの促進などに積極的に取り組み、活力と魅力あふれる商工業のまちづくりを展開していく。

1 起 業 の 促 進

(1) 熱意ある創業支援事業

若者・学生の創業や高い発展性が見込まれるスタートアップに対し、事業費の一部を支援することで、起業の促進を図る。

(2) 事業承継促進事業

企業の廃業は本市の経済に直接的な打撃を与えるとともに、貴重な技術が受け継がれないことにもつながるため、事業承継の円滑化を支援し、地域経済の活性化を図る。

2 製品開発・販路拡大の支援

(1) 産学MONOづくり支援事業

福井のものづくり企業と研究機関による産学連携の共同研究に対して支援することで、ものづくりをベースとした企業のイノベーションを促進する。

(2) 中小企業団体販路開拓支援事業

中小企業団体等が国内外への販路拡大を目的に開催または出展する展示会等に対して助成し、新規需要の開拓と地域経済の発展を図る。

(3) 地域産品販路拡大促進事業

中小企業者等が地域資源を活用して開発した加工食品の販路拡大を支援することで、地域産業の活性化を図る。

3 人材育成支援

ふくい嶺北連携中枢都市圏域内の企業の中核を担う人材を対象に、DX等に焦点を当てた研修会を開催し、DX等を用いた経営課題の解決や生産性の向上を図る。

4 産業・企業連携の推進

(1) ビジネスプランコンテスト開催事業

地域産業の担い手となる起業家の創出と育成、地域の企業や団体、大学等との連携による新たなビジネス展開の創出を目指し、ビジネスプランコンテストを開催する。

(2) 北陸技術交流テクノフェアの開催

福井商工会議所等との共催で、産学官が一堂に会して北陸内外の優秀な新技術・新製品等を幅広く展示・実演する北陸技術交流テクノフェアを開催する。

5 企業立地の推進

(1) 企業立地支援事業

産業の高度化及び雇用機会の拡大を図るため、「福井市企業立地促進条例」に基づく各種助成措置等により、企業立地を推進するとともに、受け皿となる工場用地等の情報収集に努める。

制度名	制度の概要
企業立地助成金	対象：工場等の建設に要する経費 要件：投下固定資産取得額及び新規雇用者等 助成：投下固定資産相当額の10%又は20%（限度額1億円～8億円）
研究開発施設立地助成金	対象：研究開発施設の建設に要する経費 要件：投下固定資産取得額 助成：投下固定資産相当額の10%又は20%（限度額1億円又は2億円）
本社機能施設立地助成金	対象：本社機能施設の建設に要する経費 要件：投下固定資産取得額及び新規雇用者等 助成：投下固定資産相当額の10%（限度額2億円）
研究員雇用奨励助成金	対象：研究員として雇用した新規雇用者等に要する経費 要件：研究開発施設を設置する企業 助成：新規雇用者1人につき80万円、転属者1人につき40万円（限度額1億円）
空き工場等活用助成金	対象：市に事前登録している、空き工場等（延べ床面積概ね500㎡以上）の取得又は賃貸に要する経費 助成：取得）投下固定資産相当額の10%以内（限度額1千万円） 賃貸）賃借料の2の1以内（最長3年間）（限度額月額20万円）
中心市街地オフィス立地助成金	対象：市に事前登録している、中心市街地に立地する空きオフィス（延べ床面積20㎡以上）に製造業等のオフィス（従業員2名以上）を新設又は増設するのに要する経費 助成：家賃補助（賃借料の2分の1、最大3年間） 限度額：10万円/月（従業員10人以下） 20万円/月（従業員11人以上20人以下） 30万円/月（従業員21人以上） 雇用奨励金（操業開始後3年間、限度額300万円） 新規雇用者1人につき20万円、転属者1人につき10万円

サテライトオフィス立地 助成金	<p>対象：県外事業者が、市内に IT 関連業務又は事務系業務を行うサテライトオフィスを設置するのに要する経費</p> <p>要件：新規雇用者</p> <p>助成：オフィス環境整備・運営費補助（操業開始後 3 年間、限度額 750 万円又は 1,500 万円当）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地建物の取得・改修、土地建物の賃借、事務機器の取得、事務機器のリース（経費の 2 分の 1） ・通信回線の使用料（全額） <p>雇用奨励金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UI ターン新規雇用 1 人につき 30 万円（限度額 270 万円） ・子育て世帯雇用 1 世帯につき最大 50 万円（限度額 450 万円） ・住居賃借料 賃借料の 2 分の 1（限度額 180 万円）
--------------------	---

（２）産業団地整備事業

北陸新幹線福井開業や中部縦貫自動車道県内全線開通の機会を最大限生かして企業誘致を促進するため、県都協働し新たな産業団地の整備を進める。

6 商業の振興

（１）福井市商店街連合会活性化事業

福井市商店街連合会が実施する商店街の経営力向上及び活性化のための事業を支援することで、商店街の健全な発展を図る。

（２）装飾灯・路上融雪装置維持管理支援

商店街等が維持管理する装飾灯及び路上融雪装置の電気料の一部を助成することで、来街者の利便性を向上し、商店街の活性化を図る。

（３）魅力ある商店街創出支援事業

商店街の魅力向上を図る取組について、ハード・ソフトの両面から支援を行い、商店街の活性化を図る。

（４）福井フェニックスまつり開催事業

市民、産業界、そして行政が一体となった夏の一大行事「福井フェニックスまつり」を開催することで、本市の商工・観光産業の活性化を図る。

7 中小企業金融支援

（１）小規模企業者サポート資金

小規模企業者の事業運営を支援する。

（２）SDGs 推進サポート資金

SDGs 推進、子育て支援企業または環境保全に取り組む企業の事業運営を支援する。

（３）経営安定借換資金

中小企業者の資金繰りの改善を行い、経営安定を図ることにより、中小企業の振興を促進する。

（４）企業立地促進資金

工場建設等の資金の円滑化を図ることにより、企業立地を促進する。

(5) 観光関連事業資金

積極的に観光客の誘致及び観光の活性化に取り組む中小企業者を支援する。

(6) 創業支援資金(若者・女性等)

創業資金の円滑化を図り、新事業の創出を支援する。

8 中小企業経営支援

経営上の問題を抱える中小企業者や制度融資の利用者等に対して、市が助成する商工会議所のサポートチーム又は市の経営専門指導員による経営アドバイスやフォローを実施する。

また、事業継承の課題を抱えている企業のサポート体制を充実させるとともに、税理士等の専門家を対象にしたセミナーや個別相談会を開催し、市内中小企業者の事業承継の円滑化を図る。

市内の事業所数及び従業者数(民営)

(令和3年経済センサス活動調査)

産 業 大 分 類		事 業 所 数 (事業所)	従 業 者 数 (人)
総	数	15,338	149,002
第 一 次 産 業	農 業 、 林 業	76	1,249
	漁 業	5	35
第 二 次 産 業	鉱 業 、 採 石 業 、 砂 利 採 取 業	9	56
	建 設 業	1,493	11,252
	製 造 業	1,311	20,001
第 三 次 産 業	電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	15	725
	情 報 通 信 業	192	3,307
	運 輸 業 、 郵 便 業	320	7,801
	卸 売 業 、 小 売 業	3,893	32,160
	金 融 業 、 保 険 業	379	5,509
	不 動 産 業 、 物 品 賃 貸 業	763	3,197
	学 術 研 究 、 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	826	4,470
	宿 泊 業 、 飲 食 サ ー ビ ス 業	1,813	12,276
	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 、 娯 楽 業	1,324	5,855
	教 育 、 学 習 支 援 業	455	6,185
	医 療 、 福 祉	1,079	19,988
	複 合 サ ー ビ ス 事 業	92	1,263
	サ ー ビ ス 業 (他 に 分 類 さ れ な い も の)	1,293	13,673

観 光

北陸新幹線福井開業、中部縦貫道全線開通を契機に、これまで遠くてあまり繋がっていなかった街と繋がる、福井を知らなかった人たちが訪れる、そんな100年に1度の機会が訪れる。

令和2年3月に策定した福井市観光振興計画は、『日々の暮らしにある「福」があふれるまち～オール福井で取り組む福井周遊の玄関口』を基本理念としている。市民が福井に誇りと愛着を持っておもてなしすることで、本市を来訪される方に、ひとや歴史文化、自然、食といった福井の日々の暮らしの中にあふれているいろいろな「福」を感じていただけるよう、オール福井で取組を進める。また、「ふくい嶺北連携中枢都市圏」の構成自治体の産業、歴史、風土、食といった資源を一体的に活用し、観光地としての認知度向上につなげていく。

(1) 観光地別観光客入り込み状況

(令和5年)

区 分		各観光地の 合 計	観 光 地 の 内 訳		
			朝倉氏遺跡	越前海岸	そ の 他
入 込 観 光 客 合 計 (人)		3,908,000	978,000	391,000	2,539,000
宿泊の別 日帰り・ 宿 泊	日帰り(立寄客を含む)客 (人)	3,258,000	892,000	313,000	2,053,000
	宿 泊 数 (人)	650,000	86,000	78,000	486,000
居住地別	県 内 客 (人)	2,098,000	114,000	291,000	1,693,000
	県 外 客 (人)	1,810,000	864,000	100,000	846,000
消 費 額 合 計 (千円)		28,130,039	7,269,184	2,663,159	18,197,696
消費額の内訳	宿 泊 費 (千円)	7,446,979	1,097,882	819,982	5,529,115
	土 産 品 購 入 費 (千円)	6,464,963	1,908,602	576,830	3,979,531
	そ の 他 入 場 料 等 (千円)	14,218,097	4,262,700	1,266,347	8,689,050

1. 入込観光客数の単位... 1,000人未満四捨五入し(人)単位で記入
2. 消費額の単位 1,000円 " (千円) "
3. 消費額は福井県観光客入込数(推計)の平成28年平均観光消費額を用いた推計

(2) 観 光 案 内 所

ふくい観光案内所(観光交流センター1階(公財)福井県観光連盟に運営を委託) 福井市まちなか案内所(JR福井駅西口「ハビリン」1階所在、(公財)福井市観光協会に運営を委託)、その他各地区の観光協会等にて観光案内を実施

(3) 情 報 発 信

国内外のテレビ番組、新聞、観光雑誌等への情報提供、ホームページ等での情報発信

(4) 観 光 イ ベ ン ト

ふくい桜まつり(3月下旬～4月中旬)

足羽川並木・まちなかライトアップ、福井市中央公園・足羽川河川敷イベント、無料シャトルバス運行

水仙まつり(12月中旬～1月中旬)

水仙いけばな展、海産物抽選会、水仙プレゼント

(5) そ の 他

市内観光素材の掘り起こし、観光客へのおもてなし向上の取組み、永平寺町等周辺自治体との広域観光の推進等

市内の主な観光地

一乗谷朝倉氏遺跡（城戸ノ内町）

一乗谷朝倉氏遺跡は、文明3年（1471）から天正元年（1573）まで、戦国大名朝倉氏が5代103年にわたって支配の本拠地としていた都市の遺跡である。当時の様子は、京の文化を取り入れた非常に華やかな街であったことが、発掘などの調査により明らかになっている。昭和46年、山城跡を含む延べ278haが国の特別史跡に指定され、平成3年には、遺跡内の朝倉館跡庭園、湯殿跡庭園、諏訪館跡庭園、南陽寺跡庭園が特別名勝に、平成19年には、遺跡出土品2,343点が重要文化財に指定され、令和元年には、「石」をテーマに、日本遺産（「400年の歴史の扉を開ける旅～石から読み解く中世・近世のまちづくり越前・福井～」）に認定され、現在も発掘調査や研究が進められている。

一帯は史跡公園化され、「県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館」（令和4年10月開館）町屋・武家屋敷を再現した「復原町並」、「史跡公園センター」等の施設がある。

また、史跡公園センター内には、コンセプトやメニューに“福井ならではの”を盛り込んだレストラン「一乗谷レストラン」があり、遺跡が見えるレストランとして、特別な空間で地元の食を楽しむことができる。

名勝養浩館庭園（宝永3丁目）

旧福井藩主松平家の別邸で、かつては「御泉水屋敷」と呼ばれ、明暦2年（1656）頃には庭園も完成していたと考えられている。建物は戦災で焼失したが、庭園は文政6年（1823）の御泉水指図と合致し、よく旧態を残し優秀であるとして、昭和57年国の名勝に指定された。現況の回遊式林泉庭園と復元された数寄屋造りの優雅な建物は、元禄年間の改修時に、7代藩主吉品の創意によって茶師山田宗偏が設計したと伝えられる。

越前加賀海岸国定公園（三里浜・鷹巣・鮎川・越廼海岸）

越前海岸は日本海の激しい荒波を受けた奇岩怪石が相並ぶ海岸であり、その中に砂丘地や山岳、さらに温泉もあり美しい変化に富んだ景観を持っている。この日本海の眺めや海水浴、磯釣り、キャンプを楽しもうと多くの観光客が訪れている。

足羽山公園

市の南西部にある標高116.4mの丘陵で、緑に包まれた都市公園である。ここからの展望は極めてよく、福井市街や白山連峰を眺望できる。また、開拓の祖・継体天皇の石像や同天皇を主祭神とする足羽神社を始め、自然史博物館、橘曙覧記念文学館などの文化施設や平和のシンボルとしての平和塔、親子で楽しめるミニ動物園などがあり、春の桜や夏のあじさい等四季の花木が植え込まれている。付近の史跡、名勝とともに市民の憩いの場として、四季を通じて観光客を楽しませている。

足羽川桜並木

市の中心を流れる足羽川の堤防（木田橋・新明里橋の間）には、「さくらの名所100選」にも選ばれた約600本・約2.2kmもの桜並木があり、春にはピンク色の花のトンネルくぐりが楽しめる。

藤島神社（毛矢3丁目）

足羽山の中腹に鎮座する。南朝の忠臣新田義貞公を主祭神とし、明治9年別格官幣社に列せられた。近年まで皇室や越前松平家の御崇敬厚く、文書や重要文化財を蔵し、明暦年間に、灯明寺囃より発掘されたとされる兜とともに貴重な御宝物がある。

福井神社（大手3丁目）

福井城址西側に鎮座し、幕末の名君 松平春嶽（慶永）公が祀られている。春嶽公は橋本左内をはじめ、優秀な人材を登用

するなど開明的な思想の持ち主で「幕末四賢侯」と称され、現在も市民からひとしく敬われている。

きたのしょう

北庄城址・柴田公園（中央1丁目）

天正3年（1575年）に柴田勝家が政治拠点として建築した北庄城の本丸であったと伝えられている。園内には、勝家公、お市の方と茶々、初、江の三姉妹の銅像が建てられているほか、資料館では勝家公が行った偉業を紹介し、北庄城に関する遺物や史料も展示している。

福井城址（大手3丁目）

慶長5年（1600）家康の二男結城秀康が越前68万石に封ぜられ、翌年から北庄城の大改修に着手し、同11年に完成した。壮大な4重5階の天守閣は寛文9年（1669）の大火で類焼したまま再建されなかったが、明治4年の廃藩になるまで藩主松平家17代の居城であり続けた。北庄の名称は、寛永元年（1624）に福居、元禄14年（1701）頃に福井と改められた。この改称は、本丸にある名井「福ノ井」に由来したものであるとも言われている。

往時は本丸を中心に4重の堀が廻り、櫓や城門が立ち並ぶ広大な城郭であったが、廃藩後次々に壊され、現在は本丸を残すのみである。

橋本左内の墓

早くから蘭学を修め、藩主松平春嶽（慶永）に仕えて藩政の改革に尽力した。安政6年（1859）26歳のとき、安政の大獄で梅田雲浜などとともに江戸伝馬町獄舎刑場で死罪となり江戸小塚原の回向院に埋葬されたが、間もなく国許（くにもと）福井のこの地に移葬された。

なお、墓所前の銅像は、昭和38年10月建立された。

たちばなのあけみ

橘曙覧の生家跡及び宅跡（生家跡碑 つくも1丁目・宅跡 照手2丁目）

郷土が生んだ幕末の歌人橘曙覧は、旧家の紙商であった正玄五郎右衛門の長子として足羽山山麓で生まれた。足羽山の黄金舎（こがねのや）に隠棲するまで住んだ生家跡と、37歳のとき足羽山から居を移し病没するまでの21年間、家族とともに過ごした宅跡藁屋（わらや）がある。作品に詠まれている井戸跡は今もなお宅跡に形を残し、その傍らには歌碑が建てられている。

橘曙覧記念文学館（足羽1丁目）

正岡子規に絶賛され、クリントン大統領のスピーチにも引用された郷土の卓越した歌人・国学者である橘曙覧を記念した文学館。曙覧の生涯や業績を紹介する展示、郷土文学に関する企画展示の他、曙覧の住居であった「藁屋（わらや）」の復原コーナーや著名な連作である独楽吟を紹介した展示などがある。

愛宕坂茶道美術館（足羽1丁目）

茶道史の概説や、戦国時代の茶の湯、華道や建築など市の茶道の歴史をわかりやすく紹介している。また、趣向を凝らした企画展示も随時開催している。

グリフィス記念館（中央3丁目）

福井藩初の留学生・日下部太郎との親交を縁に、お雇い外国人教師として来福したグリフィスが住んでいた洋館を再現した記念館。館内には、アンティーク家具が配され、当時の雰囲気が味わえる。

福井市立郷土歴史博物館（宝永3丁目）

福井城の一角にあたり養浩館庭園に隣接する。外堀や門などを再現した屋外展示「福井城舎人門遺構」を歩くことができる。また、福井城本丸の模型や九十九橋の実物大模型を常設展示しており、楽しみながら歴史を学ぶことができる。

大安禅寺（田ノ谷町）

萬松山大安禅寺は、歴代福井藩主の廟所で、万治元年（1658）第4代松平光通が師父として推服した播磨法幢寺の大愚禅師を招いて、竜王山田谷寺跡に創建した。本堂、他の建物は国の重要文化財に指定されており、宝物は宝物庫で公開している。また、境内には橘曙覧、笠原白翁の墓がある。

丹巖洞（加茂河原1丁目）

弘化3年（1846）福井藩医山本瑞庵が建てた草庵で、平成28年に国の登録有形文化財（建造物）に登録された。幕末のころ、勤皇派の志士や文人墨客がひそかに交遊した所と伝えられており、松平春嶽をはじめ、横井小楠、小原鉄心、橘曙覧などの墨跡がある。

五太子の滝（五太子町）

落差20m、年中変わらぬ水量で、緑の谷間を縫って激しく流れ落ちる清流は、真夏の太陽の下でも涼風を呼び、滝つぼから流れ出るせせらぎの中で河鹿の美しい声が響き、静けさが心にしみるやすらぎの世界がある。

一乗滝・一乗滝小次郎の里ファミリーパーク（浄教寺町）

落差17m、泰澄大師がここに小白山大権現を祭り、滝水山浄教寺を建て、また佐々木小次郎がこの滝で燕返しの秘技を編み出したと伝えられる。近くの一乗滝小次郎の里ファミリーパークでは、バーベキューの施設が完備されアウトドアライフを楽しむことができる。

槇山園地（栃泉地係槇山）

15世紀初め頃、朝倉正景によりつくられた城で、朝倉氏が一乗谷を本拠とすると、その出城となった。その後、長谷川秀一が入り、現在の城に改修し、秀一の後丹羽長秀の第二子、長昌が5万石を賜りここにいたが、関ヶ原の役で、西軍について除封となり、以後廃城となった。

木ごろの森（朝谷町）

平成21年に開催された全国植樹祭の植樹会場を、自由に自然とふれあい、森林への理解を深める場として整備した森林公園。オリエンテーリングや森林浴を楽しめる散策道や走り回れる芝生広場があり、自然を肌で感じることができる。

清水きららの森 ～おばやま自然公園～（小羽町）

野鳥観察や昆虫採取が出来る森と、複合遊具などを設置している広場を併設した森の中で遊べる森林公園である。また、民間企業と連携して森林の育成にも取り組んでいる。

おさごえ民家園（月見5丁目）

福井に生きた先人たちの暮らしを垣間見ることができる古民家園。市の文化財に指定されている。県内を代表する古民家5棟、板倉1棟のほか、土蔵や灰小屋などの建物が移築・復原され、地域により異なる茅葺屋根についてもうかがい知ることができる。

伊自良館（伊自良温泉）（中手町）

日本には数少ない「脳卒中に効能のある湯」といわれる天然温泉である。泉質は、ナトリウム・塩化物・硫酸塩・炭酸水素・塩泉で、「美肌の湯」ともいわれる。動脈硬化症・火傷・慢性皮膚病・神経痛・筋肉痛など多様な効能を有している。

足見滝（浜北山町）

高さ18m、幅10mの滝で、滝口から二つの流れをつくって日本海を目の前に控えた国道305号沿いに清水を落とす。その昔、岩浜づたいの危険な道中を旅する人の安息の場であり、滝水にふれて旅の安全を祈願したという滝である。

越前水仙の里公園（居倉町）

水仙にまつわる歴史、文化、世界の水仙等の資料が展示された「水仙ドーム」、越廼地区の暮らしの移り変わりや歴史を垣間見ることができる「越廼ふるさと資料館」からなる施設である。

また、公園内の芝生広場には俵万智女史の短歌の歌碑も設置されている。

ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場（赤坂町）

ログキャビンをはじめ、オートキャンプサイトやドッグラン、テニスコート等を備えたキャンプ場である。また、ログキャビンには、全棟に温泉を引いている。

越前海岸を一望できる絶好のリゾート地で、贅沢なアウトドアライフを楽しむことができる。

平成27年6月より改修工事のため休園、平成29年4月よりリニューアルオープンした。

市の主な観光施設

一乗滝・小次郎の里ファミリーパーク

落差17m、泰澄大師がここに小白山大権現を祭り、滝水山浄教寺を建て、また佐々木小次郎がこの滝で燕返しの秘技を編み出したと伝えられる。近くの一乗滝小次郎の里ファミリーパークではバーベキューの施設が完備されアウトドアライフを楽しむことができる。

1 施設概要

【所在地】 福井市浄教寺町16字堰ノ谷 8 番地 1 【施設】 バーベキュー広場
【敷地面積】 15,180㎡

2 利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	923	1,752	5,015

越前水仙の里公園

越前水仙の里公園は「越前水仙」発祥の地と云われている居倉町において、通年の越前水仙栽培展示及び水仙関連資料展示による観光客の増加と越前水仙の消費拡大を目的とした「水仙ドーム」と「水仙ギャラリー」、更に越前地域の文化の保存とPR及び将来への継承を目的として建設された「越前ふるさと資料館」からなる施設である。

1 施設概要

水仙ドーム

【所在地】 福井市居倉町第43号25番地
【敷地面積】 8,443.51㎡
【建物総面積】 624㎡(内水仙コーナー 140㎡)
【建物の構造】 鉄筋コンクリート平屋建
【開設】 平成3年4月

越前ふるさと資料館

【所在地】 福井市居倉町第50号 1 番地 2
【建物総面積】 1,247.84㎡
【建物の構造】 鉄筋コンクリート3階建て
【開設】 平成15年4月

2 利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
水仙ドーム	2,733	5,148	2,946
越前ふるさと資料館	1,310	1,391	1,523
総利用者数(人)	4,043	6,539	4,469

越前水仙の里温泉「波の華」

越前水仙の里温泉「波の華」は越前加賀海岸国定公園の景勝地において、誰もが気軽に利用でき、市民及び観光客の保養と健康増進に資することを目的として建設された施設である。

平成27年4月より、指定管理者制度が導入された。

1 施設概要

【所在地】	福井市蒲生町第1号94番地		
【敷地面積】	5,998.88㎡	【建物総面積】	1,145.75㎡
【建物の構造】	鉄筋コンクリート平屋建て、一部地下1階		
【施設内容】	男・女大浴場（露天風呂・サウナ室有）、大広間、個室2室（和室8畳）、食事処		
【開設】	平成16年7月		
【利用時間】	午前10時～午後10時		

2 利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数（人）	50,855	52,198	59,798

ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場

ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場は、日本海に面した越前加賀国定公園の山間部に位置し、自然に親しむ野外活動の場を提供し、健康づくりの推進と地域の観光の発展に寄与するために建設した施設である。

近年におけるアウトドアレジャー志向の拡大やレクリエーション需要の多様化にあわせ、平成27年6月から改修工事を行い、平成29年4月に指定管理者制度を導入し、リニューアルオープンした。

1 施設概要

【所在地】	福井市赤坂町第66号84番地
【敷地面積】	68,325.95㎡

施設名	設 備
キ ャ ン プ 場	ログキャビン（8人用：6棟、4人用：11棟） オートキャンプサイト：16区画 屋内バーベキューハウス
運 動 広 場	テニスコート：2面、多目的コート：1面
そ の 他	ドッグラン、芝生広場、遊具広場

2 利用状況

年 度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数（人）	11,582	9,983	11,977

国 際

姉妹友好都市との市民交流を支援し、多様な文化との交流を進め、地域の国際化を推進する。また、外国人市民の増加に対応し、日本人も外国人もともに安心して暮らせる多文化共生のまちづくりを推進する。

1 国際化推進事業

(1) 目的

国際化の進展に対応し、多様な文化に触れ合う機会を増やすため、海外の姉妹友好都市と、青少年や市民訪問団の相互訪問などを中心とした交流を推進する。

(2) 主な事業の内容

・福井市ジュニア大使派遣事業

国際的視野を持った青少年の健全育成を目的に、福井市の中学生をジュニア大使として姉妹友好都市に派遣し、学校訪問などを通して国際理解を深める。

・ジュニア大使受け入れ事業

青少年の相互交流を促進し国際理解を深めることを目的として、姉妹友好都市から学生を受け入れ、学校訪問やホームステイなどを実施する。

・周年における市代表者相互派遣

周年事業として、節目の年となる姉妹友好都市と市代表者の相互訪問を行う。

・福井市国際文化交流大使活用事業

本市の国際化の推進を目的として、米国ニューブランズウィック市やフラトン市等、交流のある海外都市から人材を招聘し、保育園・幼稚園・認定こども園や地域行事における国際理解活動、ソーシャルネットワーキングサービスを利用した福井の情報発信等に従事している。

(3) 各姉妹友好都市について

アメリカ合衆国ニュージャージー州ニューブランズウィック市

・姉妹都市提携の経過について

慶応3年(1867年)、福井藩初の海外留学生として、日下部太郎が渡米、ニューブランズウィック市のラトガース大学で学んだ。日夜勉学に励み、優秀な成績を修めた日下部太郎だが、貧しい生活の中で、過労から病に倒れ、26歳の若さで亡くなってしまった。

当時、ラトガース大学入学前の日下部太郎にラテン語を教え、交流があったウィリアム・E・グリフィスは、志半ばで亡くなった日下部の友情に報いるため、福井行きを決断し、福井の藩校である「明新館」で英語や物理、化学などを教えた。

福井市とニューブランズウィック市とは、日下部とグリフィスの時代からおよそ100年後の昭和49年(1974年)、郷土史を研究していた青年会議所の人々が、日下部太郎の足跡を訪ねるため渡米したことが契機となり、その交流が再び始まった。さらに、福井大学とラトガース大学の間で、昭和56年(1981年)に締結された姉妹大学盟約などをきっかけとし、昭和57年(1982年)5月25日、福井市とニューブランズウィック市の両市長は、両市の永遠の友好を約束し、姉妹都市盟約書に調印した。



・ニューブランズウィック市の概要

ニューブランズウィック市は、ラリタン河のほとりの木々の緑に囲まれた、静かな美しい学園都市であり、市内には、ラトガース大学を中心に 15 の公立学校と 3 つの私立学校があり、人口の約半数を学生で占めている。

古くからニューヨークとフィラデルフィア、首都ワシントンなどの大都市を結ぶ交通の要衝の地にあり、アムトラック鉄道が市と、ニューヨーク、フィラデルフィアと連絡し、市の郊外には数本のハイウェイが走り、交通網が良く発達している。

【概況】

提携日：1982 年（昭和 57 年）5 月 25 日（42 年目）

位置：ニューヨーク市の南西約 50Km
北緯 40° 49" 西経 74° 45"

時差：- 14 時間（夏時間中 - 13 時間）

気候：日本同様四季があるが、寒暖の差が激しい。降水量は少なく乾燥している。（年平均 12 ）

面積：15.02K m²

人口：5.6 万人（2024 年 7 月）

主要産業：医療産業

特産物：ブルーベリー、クランベリー

アメリカ合衆国カリフォルニア州フラトン市

・姉妹都市提携の経過について

1980 年に福井北ロータリークラブとフラトンサウスロータリークラブ間で姉妹クラブ提携がなされ、それ以来、学生の相互派遣などが続けられてきた。両クラブの交流を契機とした両市長の往来を経て、1987 年 11 月に開催された福井カリフォルニア展参加のため、フラトン市長一行が福井市を訪れたことから、姉妹都市締結への機運が盛り上がり、姉妹都市提携が実現した。



・フラトン市の概要

フラトン市は、1860 年頃にアメリカ東部から移住した開拓者が牧場を開き、オレンジや野菜などを生産していたが、1887 年にサンタフェ鉄道が開通すると、街並みが本格的に形成され、現在のフラトン市発展の基盤となった。その時の功労者であるジョージ・フラトンにちなんでフラトン市の名前がつけられた。

交通環境としては、オレンジ郡が運営するバス路線、アムトラック鉄道、そして南カリフォルニア全域の主要交通路である高速道路網（フリーウェイ）があり、非常に便利な立地条件を備えている。

フェンダーギターの創業の地として知られ、多くの市民が音楽に親しみ毎年“The Day of Music”という大規模な音楽フェスティバルが開催される。

【概況】

提携日：1989 年（平成元年）11 月 5 日（35 年目）

位置：ロサンゼルス市の南東 36Km（南カリフォルニア地域）
北緯 33° 53" 西経 117° 55"

時差：- 17 時間（夏時間中 - 16 時間）

気候：半乾燥性亜熱帯に属し、乾燥している。（年間平均 16.8 ）

面積：57.8K m²

人口：14.1 万人（2024 年 8 月）

主要産業：石油産業、航空機械関連産業

特産物：オレンジ

セッコウショウコウシュウシ
中国浙江省 杭州市

・友好都市提携の経過について

浙江省と福井県との関わりは、永平寺を開山した道元禅師が寧波市で禅の修業を行ったことや、文豪魯迅と福井出身の師・藤野巖九郎との関係があげられる。また、杭州市と福井市はそれぞれ省都と県都であり、繊維産業が盛んであることなど多くの共通点があった。

1975年に第一次中日友好福井県青年の翼一行が杭州市を訪問して以来、福井市からは、書道、小学校、婦人、放送局などの交流団の訪問やファッションフェアの開催、杭州市からは雑技団、歌謡団の訪問など活発な交流が行われた。その熱意が実を結び、1988年9月、両市の間で人の交流を柱とする「友好会談合意書」を交わし、1989年11月23日杭州市において友好都市提携に関する議定書の調印が行われた。



・杭州市の概要

杭州市は、中国の東南沿海、長江の南を流れる銭塘江下流の北岸にあり、北京、杭州をつなぐ大運河の最南端に位置している。浙江省の省都であり、政治、経済、科学、教育、文化の中心を担う都市である。近年著しい経済発展を遂げており、中国内都市競争力ランキングでも上位に位置している。

白居易や蘇東坡の詩にうたわれ、人々にこよなく愛され続けている西湖のほか多数の観光資源を備え、国内外観光客で賑わいをみせる観光都市で、13世紀のイタリアの旅行家マルコポーロが「世界で最も美しく華やかな都市」と誉め讃えたことでも有名である。

【概況】

提携日：1989年（平成元年）11月23日（35年目）

位置：上海市の南西約170km（上海市まで車で2時間、高速列車で45分）
北緯30°16" 東経120°12"

時差：-1時間

気候：亜熱帯季節風気候に属し、四季がはっきりしている。（年間平均18.0℃）

面積：16,596km²

人口：1,252.2万人（2023年11月）

主要産業：機械、電子、食品、紡績、化学、医学産業

特産物：杭州シルク、龍井（ろんじん）茶

キョングド スウォンシ
大韓民国京畿道水原市

・友好都市提携の経過について

福井青年会議所と水原青年会議所は、1964年11月に姉妹提携を締結してから、さまざまな分野で交流を行ってきた。この事がきっかけとなり、1983年に両市の商工会議所が姉妹提携を結び、また、学校間においては、水原市の新豊国民学校と福井市の栗小中学校が姉妹校となった。それ以降、絵画交換等の交流も実施されており、文化・スポーツ・教育など民間レベルでの多様な交流が行われている。

ワールドカップサッカー大会共同開催の2002年、両国は「日韓国民交流年」として多様な交流を積極的に推進していくことで合意。このような社会情勢を背景に、両市の友好都市提携へ向けた動きは急速に進展し、2001年12月22日友好都市提携にいたった。



・水原市の概要

水原市は、朝鮮半島のほぼ中央、京畿道（キョンギド）にある道庁所在地であり、バイオテクノロジー研究開発、先端電子産業、教育、文化、芸術の中核を担う都市である。

市内中心部には「水原華城（スウォンファソン）」という李氏朝鮮王朝末期（18世紀末）に造られた行宮と城壁があり、これらはユネスコ世界文化遺産に登録され、国内外からたくさんの観光客が訪れる。

2002年のサッカーワールドカップ開催時には、市内にワールドカップ競技場が建設された。また、ソウル地下鉄の乗り入れがソウルから水原市へ、そして天安（チョナン）市まで延長され、ソウルと地方都市を結ぶ重要な企業団地としても発展している。

【概況】

提携日：2001年（平成13年）12月22日（23年目）

位置：首都ソウル特別市から南に約35キロ（地下鉄で約1時間）

北緯37° 東経127°

時差：なし

気候：温帯性気候に属する。（年間平均11.8℃）

面積：121.00K m²

人口：123.4万人（2024年7月）

主要産業：電気電子産業

特産物：水原カルビ

熊本県熊本市

・姉妹都市提携の経緯について

天保11年（1840年）熊本藩主・細川斉護の三女勇姫が福井藩主・松平春嶽のもとに輿入れし、また安政5年（1858年）には、熊本藩士・横井小楠が春嶽に招かれ、藩政改革を指導した。このような縁を礎として、両市の恒久的な友好関係を確立するため、姉妹都市提携調印を行った。



・熊本市の概要

熊本市は、九州のほぼ中央に位置し、「水と緑の都」と呼ばれる美しい街である。日本三大名城の一つである熊本城をはじめ、豊かな自然と歴史に彩られた多くの観光資源が残されており、九州の一大観光拠点として、国内外から多くの観光客を集めている。

2016年（平成28年）4月の熊本地震では多大な被害を被った。

【概況】

提携日：1994年（平成6年）11月16日（30年目）

位置：熊本県北西部

北緯32°48′ 東経130°42′

気候：内陸盆地的な地形のため寒暖の差が大きく、夏は蒸し暑い。

（年間平均16.5℃）

面積：390.32 k m²

人口：73.7万人（2024年7月）

主要産業：サービス産業、IC産業、都市型農業・水産業

特産物：デコボン、馬刺し、大平燕

茨城県結城市

・友好都市提携の経過について

福井市と結城市は、初代福井藩主である結城秀康公の歴史的な繋がりを縁として、市民の方々による交流が行われてきた。平成12年12月に民間組織による福井結城会が発足し、平成13年7月には、初代藩主結城秀康公の越前入国400年を迎えるなど、両市の交流の気運が生じているこの時期に、結城市との友好都市提携を図ることに両市の合意が得られ友好提携を行った。



・結城市の概要

結城市は、関東平野のほぼ中央、茨城県の西北端に位置し、東西6 km、南北13 kmと南北に長い形をしている。

鎌倉時代には、結城朝光が築城し、以来結城家歴代の城下町で、常陸紬（結城紬）の特産地として発展し、江戸時代には、結城水野家の城下町となり、結城紬をはじめ各種農産物の集散地として発達した。「本場結城紬」は、国最古の織機を使って生産され、その製作工程が国の重要無形文化財に指定されている。現在でも、市内には神社・寺院等が点在し、まちなみには土蔵等もみられ城下町の名残を残している。

【概況】

提携日：2002年（平成14年）4月13日（22年目）

位置：茨城県西北端の県境

北緯 36° 19' 東経 139° 54'

気候：年間を通して温暖（年間平均 13.2℃）

面積：65.76 K m²

人口：5.0万人（2024年8月）

主要産業：伝統産業、桐工芸

特産物：結城紬、日本酒

2 多文化共生の推進事業

（1）目的

外国人市民の増加に対応し、すべての市民が互いのちがいを認めあい、対等な関わりを築きながら共に安心して暮らせる地域づくりを実現するために、令和2年3月に策定した福井市多文化共生推進プラン（第3次）を基に事業を実施する。

（2）主な事業の内容

・行政通訳員配置事業

日本語が不自由な外国人市民にも等しく行政情報を提供できるよう、行政通訳員を配置し、各窓口の手続きや制度説明の通訳及び通知等の翻訳を行う。

・職員対象多文化共生推進研修会の開催

多文化共生の啓発を目的に、職員を対象に研修会を実施する。

・市民対象多文化共生啓発事業の開催

多文化共生の啓発を目的に、（公社）ふくい市民国際交流協会と協働して、市民対象の事業を実施する。

3 国際化市民活動促進事業

(1) 目的

市民が主体となった本市の国際化を推進するために、中核的な役割を担う「(公社)ふくい市民国際交流協会」等の各市民団体を支援する。

(2) 主な事業の内容

・(公社)ふくい市民国際交流協会支援事業

市と市民の中核的な役割を担う「(公社)ふくい市民国際交流協会」を支援し、市民の国際化意識の醸成を図る。

(3) (公社)ふくい市民国際交流協会の概要

令和6年度体制

- ・役員 25人 (会長1人 副会長3人 常務理事(兼)1人 理事18人 監事2人)
- ・事務局 3人 (事務局長(兼)1人 事務局員2人)
- ・会員 合計180人 (法人21人 個人159人)
- ・事業推進体制

(1) 姉妹都市交流委員会 ... 海外姉妹友好都市との交流イベント等企画

(2) 多文化共生交流委員会 ... 在住外国人への支援・交流イベント等企画

令和6年度事業計画(予算)

青少年文化交流事業、市民訪問団受入事業、市民訪問団派遣事業、市民文化交流促進事業、交流型日本語教室事業、日本文化体験学習事業、外国人の防災対策事業、文化理解交流事業、外国人講師派遣事業、外国人児童生徒サポーター研修事業、福井の歴史文化通訳研修事業、やさしい日本語推進事業、会員等研修事業、広報誌発行・情報発信事業

文化振興・歴史文化

本市では、市民の誇りとなる文化の振興と、歴史や文化遺産の保存継承に努めるとともに、文化芸術活動の交流と発信を促進し、歴史や文化を活かした個性的で魅力あるまちづくりを進めている。

1 文化振興

市民の文化活動の振興に努め、優れた文化芸術に触れる機会を創出するとともに、文化芸術活動を支える人材育成を支援している。

(1) 文化団体の育成

福井市文化協会

設立年月 昭和26年4月

加入団体 62団体（令和6年4月1日現在）

主な事業 「福井市民文化祭」の開催

福井県市町文協選抜美術展参加

福井県市町文協選抜芸能祭参加

市補助金 令和5年度 1,300千円

NPO法人 福井芸術・文化フォーラム

設立年月 平成11年7月（NPO法人認証：平成13年9月）

事業目的 「文化は人をつくり、まちをつくるコミュニケーションの礎である」との基本理念に立ち、地域社会に豊かな文化環境を構築することを目的に、多彩な文化事業への主体的な市民参画を図り、行政と連携して地域文化の創造と発展に寄与する。

市補助金 令和5年度 10,994千円

福井芸術・文化フォーラム事業

事業内容	令和4年度		令和5年度	
	事業数	入場者数	事業数	入場者数
市民の芸術文化企画を支援する事業	1	86	2	273
企画・運営・舞台技術などの担い手育成	1	1,545	1	1,409
文化交流の促進	2	164	1	91

(2) 文化奨励賞の授与

文化・芸術の分野において、優れた活動と業績をあげた市民の栄誉を称賛し、併せて文化創造を志す者の努力目標として、福井市文化奨励賞を授与する。

2 歴史文化

(1) 一乗谷朝倉氏遺跡

一乗谷朝倉氏遺跡は、文明3（1471）年から天正元（1573）年まで、戦国大名朝倉氏が5代103年にわたって支配の本拠地としていた戦国時代の歴史が残された貴重な中世の都市遺跡である。昭和46年、山城跡を含む延べ278haが国の特別史跡に指定され、平成3年には、遺跡内の主要な4庭園が特別名勝に、平成19年には、遺跡出土品約160万点の内、2,343点が重要文化財に指定され、現在も発掘調査や研究が進められている。

指定年月日、面積等

特別史跡	昭和46年7月29日指定	278ha	(うち公有地 29.4ha)
特別名勝	平成3年5月28日指定	15,549m ²	(特別名勝指定区域内ですべて公有地)
重要文化財	平成19年6月8日指定	出土品	(2,343点)

施設の概要

施設	一乗谷史跡公園センター (一乗谷朝倉氏遺跡事務所)		復原町並管理棟
所在地	福井市城戸ノ内町10字48番		福井市城戸ノ内町28字37番
電話番号	0776-41-2173		0776-41-2330
開設年月日	昭和58年5月15日		平成7年11月1日
着工年月日	平成19年9月10日		平成7年5月12日
竣工年月日	平成20年3月7日		平成7年9月14日
敷地面積	1,919.87m ²		
建物面積	619.4 m ²		92.74m ²
建物区分	管理棟	休憩棟	渡廊下
建築面積	115.9m ²	429m ²	74.5m ²
主要施設	事務所	レストラン 休憩所	案内所 保存協会事務所
建物概要	木造2階建、屋根垂鉛メッキ葺		木造平屋建て、屋根銅板葺
総事業費	129,627千円		25,235千円

施設	復原町並 (立体復原地区)		
所在地	福井市城戸ノ内町川合殿、平井地区		
開設年月日	平成7年4月28日 (武家屋敷は昭和59年3月31日)		
着工年度	平成3年度 (武家屋敷は昭和57年12月1日)		
竣工年度	平成7年度 (武家屋敷は昭和59年3月31日)		
敷地面積	約3 ha		
主要施設	武家屋敷構	武家主屋、蔵、便所、使用人小屋、薬医門、棟門、土塀	
	町屋構	町屋、便所、井戸、土塀、柴垣	
	ガイダンス施設	展示室、案内所	
総事業費	663,800千円		
入場料	大人330円、団体(20人以上)割引 小中学生、70歳以上の者100円 障害者及び未就学児無料(令和4年10月1日より)		
使用料	立体復原建造物	武家主屋	6,600円 (1棟当たり 1回につき)
		町屋	4,400円 (1棟当たり 1回につき)
	平面復原遺構		8,800円 (1区画当たり1回につき)
休場日	年末年始(12月28日～1月4日)		
開場時間	午前9時から午後5時まで(ただし、入場は午後4時30分まで)		

(2) 名勝 養浩館(旧御泉水屋敷)庭園

養浩館庭園は、江戸時代「御泉水屋敷」と呼称された福井藩松平家の別邸の庭園である。庭園は、方形に近い広い池を中心に展開し、園池の東岸には池を望んで書院を、南岸には臼ノ茶屋を配し、南西隅にも清廉と呼ばれた小規模の建物が設けられた回遊式林泉庭園である。現状が文政6年(1823)の御泉水指図とも合致しており、よく旧態を残した優秀な庭園であるとして、昭和57年国の名勝に指定され、昭和60年度から平成4年度までの8カ年で庭園及び建造物の復元整備を実施し、平成5年6月に開園した。

指定年月日、面積等

名勝 昭和57年7月26日指定 8,595.91m² (敷地面積の内)

施設の概要

所在地	福井市宝永3丁目11番36号	
電話番号	0776-20-5367 (福井市文化振興課)	
開設年月日	平成5年6月17日	
敷地面積	12,309.25m ²	
建築面積	書院、清廉、雪隠、門、塀 (復元面積 384.87m ²) 御花造居室 (規模外観復元、復元面積59.49m ²)	
復原整備費	庭園関係	513,734千円
	建物関係	712,313千円
	合計	1,226,047千円
用地買収費	1,372,570千円	
総事業費	2,598,617千円 (調査関係費を除く)	
用地買収面積	5,844.48m ²	
復元の方針	文政6年(1823)の「御泉水指図」を基礎にして復元	
復元の期間	昭和60年度から平成4年度	
入園料	大人220円、団体(20人以上)割引 中学生以下の者、70歳以上の者及び障害者無料 歴史博物館との共通券 大人350円	
休園日	年末年始(12月28日～1月4日)	
開園時間	午前9時から午後7時まで(ただし、入園は午後6時30分まで) (11月6日～2月末日 午前9時～午後5時まで 入園は午後4時30分まで) 早朝無料開園(東門のみ開門、庭園の散策のみ可、建物への立入不可) 4月1日～10月31日:午前5時30分～午前8時45分 (9月1日～10月31日:午前6時～午前8時45分)	
使用料	1回につき3時間以内の使用料 (閉園時間後、特別に使用する場合の使用料は下記の額に5割加算) ----- 御月見ノ間、鎖ノ間、金砂子ノ間、御座ノ間 御次ノ間、櫛形ノ間、御台子、土間、御台所 御廊下、御上り場、御湯殿、内池空間 御花造蔵、芝生広場 1部屋(箇所)1,650円	

(3) 愛宕坂茶道美術館

茶道文化の果たした歴史的な役割について市民の理解を深め、文化教養の向上を図るため、足羽山の中腹にこの施設を建設した。

施設の概要

所在地	福井市足羽1丁目8番5号
電話番号	0776-33-3933
開設年月	平成11年10月
敷地面積	634.22m ²
延床面積	〔美術館〕409.45m ² 〔茶室〕85.43m ²
施設内容	常設展示室、企画展示室、映像コーナー、展示会議室（貸室）、茶室（貸室）、庭園
建物の構造	〔美術館〕鉄筋コンクリート造4階建 〔茶室〕木造平屋建

利用状況

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数（人）	5,027	12,749	8,201

(4) 橘曙覧記念文学館

幕末の歌人で国学者でもあった橘曙覧の業績を顕彰し、郷土の文学活動の振興を図るため、足羽山の中腹にこの施設を建設した。

施設の概要

所在地	福井市足羽1丁目6番34号
電話番号	0776-35-1110
開設年月	平成12年4月
敷地面積	870.24m ²
延床面積	553.52m ²
施設内容	第1展示室（企画展示）、第2展示室（常設展示）、「藁屋（わらや）」復元コーナー、映像コーナー、図書閲覧室、収蔵庫、五嶽テラス、庭園
建物の構造	鉄骨造2階建

利用状況

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数（人）	5,060	6,268	4,476

(5) グリフィス記念館

福井藩のお雇い外国人教師であったウィリアム・エリオット・グリフィスの功績を中心に郷土の歴史等を学ぶ場を提供すると共に、まちなか散策の拠点としてにぎわいを創出するため、浜町に開館した。

施設の概要

所在地	福井市中央3丁目5番4号
電話番号	0776-50-2911
開設年月	平成27年10月
敷地面積	764.95m ²
延床面積	〔グリフィス館〕134.86m ² 〔おもてなし館〕54.98m ²
施設内容	〔グリフィス館〕1階展示室、2階展示室、グリフィスの執務室復元コーナー、映像コーナー、収蔵庫、テラス、ベランダ 〔おもてなし館〕休憩スペース、職員事務室、トイレ
建物の構造	〔グリフィス館〕木造2階建 〔おもてなし館〕木造平屋建

利用状況

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	8,481	13,190	11,008

(6) 歴史のみえるまちづくり事業

歴史拠点施設を活用した事業

- ・愛宕坂にぎわい事業(灯の回廊)

公益財団法人歴史のみえるまちづくり協会委託・補助事業

- ・令和独楽吟事業
- ・歴史ボランティアの育成及び派遣事業
- ・歴史講座、歴史ツアー開催事業

博 物 館 ・ 美 術 館

1 自然史博物館

自然豊かな足羽山に位置する自然史博物館は、全国的にも歴史の古い博物館である。旧館は、昭和27年に開催された福井復興博覧会の第二会場となった建物を利用しており、平成29年には、国の登録有形文化財に登録された。

足羽山など、市内に生息するほとんどの動植物の実物標本の展示をはじめ、特別展や企画展、自然史講座や観察会を通じて、福井の自然の魅力を楽しみながら学ぶことができる。また、足羽山のビジターセンターとして、足羽山の自然と観光についての情報を発信している。

さらに、平成28年4月に「自然科学教育の推進」と「中心市街地の賑わいづくり」のため、福井駅西口に天文分野に特化した博物館としてセーレンプラネット(福井市自然史博物館分館)が開館。全国屈指のリアル8Kによる高精細な美しいプラネタリウムの投映はもとより、コンサートや講演会などの会場としても利用されている。

(1) 施設概要

<自然史博物館>

所在地	福井市足羽上町147(足羽山公園内)
設立	昭和27年4月(同年7月 福井市立郷土博物館として開館)
増設	第一次増設 昭和33年5月(増築) 第二次増設 昭和56年5月(本館増築) 第三次増設 平成4年3月(新館増設)
建物構造	鉄筋コンクリート地下1階、地上3階
建物延面積	1,989.01m ²

<セーレンプラネット>

所在地	福井市中央1丁目2番1号(ハピリン5階)
設立	平成28年4月
建物構造	鉄筋コンクリート地下2階、地上21階のビル5階部分
面積	1,837.70m ²

(2) 主要設備・展示内容

<自然史博物館>

屋上	天文台(20cm屈折望遠鏡) 展望所
3階	講堂(レクチャーホール) 収蔵庫
2階	特別展示室、研究室、実習室、展望所(白山テラス)
1階	常設展示室(足羽山をはじめ、市内に生息する1,467種、1,753点の動植物の標本を展示) 足羽山ビジターセンター、普及図書コーナー、事務室等
地下	作業室、収蔵庫

<セーレンプラネット>

展示室	地球、太陽系をはじめ、その先の宇宙の解説のほか、先人の宇宙へのあこがれや想像から生まれた文化を映像やクイズを交えて紹介。
ドームシアター	水平式全天周スクリーン160席(内径17m)
その他	多目的室、シアター工房、受付・エントランス、事務室等

(3) 入 館 料

<自然史博物館>

常 設 展 100円 (20人以上の団体は半額) ただし中学生以下、70歳以上及び障害者は無料

企 画 展 その都度定める額

<セーレンプラネット>

常 設 展 410円 (20人以上の団体は2割引) ただし高校生以下、70歳以上及び障害者は無料

企 画 展 その都度定める額

ドームシアター 620円 (20人以上の団体は2割引) ただし3歳以上高校生以下は310円、3歳未満は無料

(4) 所 蔵 資 料

令和6年4月1日現在 (単位:点)

	動物	植物	キノコ	昆虫	貝類	岩石	化石	鉱物	天文	参考標本	合計
自然史博物館	6,522	79,170	2,725	41,095	17,529	2,579	14,294	2,748	109	439	167,210
セーレンプラネット						2			109*		111

* ドームシアター用映像資料 (81点) 含む

2 美 術 館

市民が気軽に美術に親しめる美術文化活動の拠点として、地域に根ざした市民の創造的な美術活動を支援育成することを目的に平成9年10月1日に開館した。

建物は、自然との関係を意識し、外壁の大部分がガラス張りで、曲線を多用した有機的な形とすることにより、周辺の自然と調和した美術空間を演出している。

事業は、優れた芸術作品に直に触れ、鑑賞するだけでなく、創作することもできるようにし、「みる」と「つくる」を一体化した活動を通して、市民がより芸術を体感し、感動できるよう工夫している。

「みる」場として、福井市ゆかりの彫刻家・高田博厚の足跡と業績を常設展示するほか、自主企画をはじめマスコミ、他の美術館、美術団体等と提携した様々な分野の展覧会を企画し、幅広い芸術作品に触れる機会の提供に努めている。

一方、「つくる」場として、公募による“市美展ふくい”の開催及び市民ギャラリーの貸出しにより、「つくる」市民に作品発表の機会を提供することはもとより、「みる」市民とのコミュニケーションの場も創出している。さらに、子どもから大人までが「つくる」ことの楽しさを通して、豊かな創造力を育むとともに、新たな創作活動へのいざないとなることを願って、アトリエ事業（市民アトリエ、子どもアトリエ、アトリエチャレンジ等）を開催している。

(1) 施 設 概 要

所在地	福井市下馬3丁目1111番地
建物構造	鉄骨造り（一部鉄筋コンクリート造り）地上3階、地下1階
敷地面積	34,113.77m ²
建築延面積	5,262.84m ²
開館	平成9年10月

(2) 建 物 概 要

展示部門	常設展示室 福井市ゆかりの彫刻家・高田博厚の全貌を紹介するとともに福井ゆかりの美術家の作品も紹介 企画展示室・市民ギャラリー 当館主催の企画展の他、共催展や公募展の開催、市民の美術創作活動の発表の場としても活用
教育普及部門	市民アトリエ1、市民アトリエ2、子どもアトリエ 市民や子どもたちの創作活動の場
収蔵部門	収蔵庫（絵画収蔵庫、彫刻収蔵庫、前室）、荷解室
管理部門他	喫茶室、エントランスホール、講堂、会議室、事務室、学芸員室等
屋外施設	屋外アトリエ、屋外ギャラリー等

(3) 観 覧 料

常設展	大人 100円（20人以上の団体は50円）ただし、中学生以下の者、70歳以上の者及び障害者は無料
企画展	その都度定める額

(4) 収 蔵 作 品

高田博厚作品	213点
福井ゆかりの美術作家の絵画造形作品	93点

3 郷土歴史博物館

郷土歴史博物館は、昭和28年足羽山に開館して以来、地方の草分け的博物館として郷土の歴史啓蒙を進めてきた。平成16年には名勝「養浩館(旧御泉水屋敷)庭園」の隣接地へ移転し、郷土への誇りと愛情を育み、知る喜び学ぶ楽しみの輪を広げる博物館となることを活動の理念として、資料の収集保存、調査研究、展示、教育普及等に関する様々な事業を行っており、養浩館庭園を含む「福井 歴史の庭 散策ゾーン」として情報発信にも努めている。

また、清水郷土資料館を所管している。

(1) 施設概要

所在地	福井市宝永3丁目12番1号
電話番号	0776-21-0489 / FAX 0776-21-1489
建物構造	鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造 地上2階地下1階
敷地面積	6,574.93㎡ / 建物延面積 3,915.19㎡
移転開館	平成16年3月

(2) 主要設備

展示部門	平常展示 常設展示室(ふくいのおゆみ、古代のふくい、城下町と近代都市、幕末維新の人物) 松平家史料展示室(越前松平家に伝来した資料などの展示、概ね2カ月で展示替え) 館藏品ギャラリー(収蔵資料紹介や時季にあわせたタイムリーな展示、概ね1カ月半で展示替え) 企画展示室(特別展覧会を、概ね春、夏、秋の年3回開催)
収蔵部門	考古収蔵庫、収蔵庫1、収蔵庫2、特別収蔵庫
教育普及部門	講堂
その他	エントランスホール、授乳・救護室、休息スペース等
駐車場	一般車30台 *養浩館庭園駐車場バス3台

(3) 観覧料等

平常展示観覧料	220円(20人以上、団体割引あり)、ただし、中学生以下の者、70歳以上の者及び障害者は無料
特別展覧会観覧料	その都度定める額(平常展示観覧料含む)
休館日	年末年始(12月28日~1月4日)及び展示替え等による臨時休館日
開館時間	午前9時~午後7時(11月6日~2月末日は、午後5時閉館)

(4) 収蔵資料

(令和6年4月1日現在)

館蔵資料	34,285件 (内、指定文化財 国 0件、県 4件、市 4件)
寄託資料	7,335件 (内、指定文化財 国 8件、県 5件、市 2件)
計	41,620件 (内、指定文化財 国 8件、県 9件、市 6件)

(5) 所管施設の概要

施設名称	清水郷土資料館
所在地	福井市風巻町21-17(清水図書館内)
電話番号	0776-98-3820(清水図書館)

建築面積 312.6㎡(展示面積230㎡)
観覧料 無料
休館日 月曜日、第3日曜日、国民の祝日、年末年始、他に臨時休館有り
開館時間 10時～18時

社 会 体 育

本市では、令和2年1月に改訂した「福井市スポーツ推進計画」の計画期間が令和5年度末をもって終了したことから、令和6年度から令和10年度までを計画期間とする第2期福井市スポーツ推進計画を策定した。

「第2期福井市スポーツ推進計画」では、国の「第3期スポーツ基本計画」の考え方や方向性を参酌・反映した上で、『スポーツの力で創る！元気で明るく楽しい！まちふくい』を基本理念とし、スポーツ機会の創出「する・つづける」、スポーツ文化の振興「みる・たのしむ」、スポーツ活動への参加促進「ささえる・かかわる」、スポーツを活かしたまちづくりの推進「あつまる・つながる」の4つの基本方針を掲げ、スポーツの推進に取り組んでいるところである。

1 スポーツクラブの育成

「単発的なスポーツ行事より、自主的、継続的なスポーツ活動を！」を目標に掲げ、「スポーツ教室」を開催し、その教室から自主クラブ活動へとつながるよう奨励していく。

(1) 全市民対象スポーツ教室

日ごろ運動する機会に恵まれない、また仲間がいなくて運動ができない等の市民を対象に、市内全域から参加を募り、だれもがいつでも気軽に参加できるよう、市が企画・運営を行っている。

(2) 各種団体主催スポーツ・レクリエーション教室

(公社)福井市スポーツ協会や福井市レクリエーション協会加盟団体が、スポーツ・レクリエーションの普及活動の一環として実施するもので、市が委託及び助成する教室から加盟団体が独自で主催する教室まで、多様な教室が開設されている。

2 生涯スポーツ推進事業

「第八次福井市総合計画」の中で、「市民の生涯スポーツを支援する」ことを目標に取り組んでいく。近年体力の維持増進や健康への関心が高まる中、市民一人ひとりがそれぞれのライフスタイルや、体力に合わせてスポーツやレクリエーションを楽しむ傾向が強まっていることを踏まえ、各種教室や大会をとおして、子どもから高齢者まで、スポーツに親しむことのできる環境づくりに努めていく。

3 スポーツ推進委員

昭和32年「地方スポーツの振興について」の次官通達により設置された制度で、昭和36年のスポーツ振興法成立によって制度的に位置づけられた。任務役割について、当初は実技指導が中心であったが、社会体育の現状をふまえながら、「市町村の行う体育・スポーツ振興事業の企画に参画し、その推進者としての任務を重視していくべきである」という昭和47年の保健体育審議会の答申により、企画・立案の任務重視が打ち出された。

平成23年に施行されたスポーツ基本法では、これまでの「体育指導委員」から「スポーツ推進委員」に名称が変更され、その役割に「スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整」が追加された。したがって、市の指導担当者間（行政職員および民間指導者）の連携・協調体制の充実を図りながら地域におけるスポーツの実技指導、スポーツ環境の整備充実への協力が期待されている。

具体的には、スポーツプログラムの企画・立案やその参画と推進、また、地域住民が自主的・自律的にスポーツ活動が行えるよう、スポーツ教室の実践およびクラブの組織化等の指導が求められる。

本市では、上記のことをふまえ、社会的信望 スポーツに関する深い関心と理解 その職務を行うために必要な熱意と能力をもつという3つの観点で、各地区体育団体長の推薦を受けた124名に対し、市が委嘱している。

4 関係団体の育成と事業の充実

関係団体の健全な運営と組織力・指導力の強化およびスポーツ推進への支援に努める。

(1) (公社) 福井市スポーツ協会

市民スポーツ大会や種目別委託事業の開催のほか、選手・指導者強化事業、県民スポーツ祭への派遣、地区（区民）スポーツ大会への補助事業などを行っている。

（公社）福井市スポーツ協会 加盟団体

競技団体 42、地区体育団体 49、学校体育団体、スポーツ少年団、レクリエーション協会 計 94 団体

(2) 福井市スポーツ少年団

青少年がスポーツを楽しみながら心身の健全な育成を図ることを目的として、各単位スポーツ少年団とともに、自主性をもって連携や協議を進めながら運営・活動をしている。

令和6年度登録団 43 団 登録団員数 891 人

(3) 福井市レクリエーション協会

「ともに生きる」社会、「ともに遊ぶ」文化を求めて、多くの市民が気軽に、いつでも、どこでも、スポーツレクリエーションに親しめる環境づくりを推進するため、各種事業を行っている。

加盟団体 オリエンテーリング協会 サイクリング協会 ターゲットバードゴルフ協会

フォークダンスサークル「リズムの会」 不死鳥民謡の会

(4) 福井市スポーツ推進委員協議会

スポーツ推進委員が相互の連絡を密にし、その活動の活発化を図ることにより、委員の資質向上と市民のスポーツ推進に寄与することを目的に、各種研修・事業を行っている。

5 学校体育施設開放事業

地域のスポーツ活動の拠点として、学校教育に支障のない範囲で、学校体育施設の一般開放を昭和51年度から実施している。学校の体育施設を開放することによって、地域を主体とした各種教室・大会等の開催による地区スポーツの振興、スポーツを通じたコミュニティづくりに大きな役割を果たす場となっている。

(1) 体育館・校庭

市内小学校（49校）と中学校（18校）の体育館及び校庭を開放している。

運営管理

開放事業運営機関として各開放校に学校体育施設開放運営委員会を組織し、企画、運営に当たる。

(2) 夜間屋外運動場（夜間照明設置校のみ）

森田小、越廼小、清水西小、清水南小、足羽中、光陽中、川西中、足羽第一中、鷹巣小中、美山中

（午後7時30分～9時まで）

(3) プール

小学校プールを夏季休業期間（7月下旬～8月上旬の午前）に開放している。

6 社会体育施設

(令和6年4月現在)

区分	施設名	敷地面積 (㎡)	施設の概要	竣工 年月	建設当時の 工事費(千円)
体育館	体育館 (松本4丁目)	13,824	メインアリーナ 鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建て一部4階建て 建築面積 3,709.36㎡ 床面積 延5,884.87㎡ バスケットボール 2面 バレーボール 2面(練習用 3面) バドミントン 10面 テニス 3面 ハンドボール 1面(練習用 2面) フットサル 1面(練習用 2面) エスキーテニス 8面 卓球 24台	H23. 3 (改修)	1,890,069
			サブアリーナ 鉄骨造平屋建 建築面積 1,367.71㎡ 床面積 延1,344.24㎡ バスケットボール 1面 バレーボール 1面(練習用 2面) バドミントン 3面(練習用 6面) テニス 1面 フットサル 練習用 1面 エスキーテニス 6面 卓球 10台	H27.12 (増築)	485,508
用途別 優先体育館	ちもり体育館 (淵4丁目)	8,339	鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建一部2階建て 建築面積 2,311㎡ 床面積 延2,415.04㎡ バスケットボール 2面 バレーボール 2面 バドミントン 6面 テニス 1面 ソフトバレー 6面 卓球 11台	H24. 3 (改修)	70,242
屋内運動場	中藤屋内運動場 (高木町)	5,198	鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建一部3階建て 建築面積 1,634.55㎡ 床面積 延1,688.27㎡ フットサルコート(1F) 1面 テニスコート(1F) 1面 軟式・硬式野球(1F) 練習用 ソフトボール(1F) 練習用 卓球(2F) 3台 1F 人工芝、2F フローリング	H26.11 (改修)	88,681

区分	施設名	敷地面積 (m ²)	施設の概要	竣工 年月	-
地域体育館	東体育館 (東郷二ヶ町)	7,353	鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建一部2階建て 建築面積 1,527 m ² 床面積 1,660.97 m ² バスケットボール 1 面 バレーボール 2 面 バドミントン 6 面 テニス 1 面 卓球 11 台	H 4. 7	477,106
	西体育館 (飯塚町)	14,824 (わかばテニ スコート含 む)	鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建一部2階建て 建築面積 1,553 m ² 床面積 1,845.92 m ² バスケットボール 2 面 バレーボール 2 面 バドミントン 6 面 テニス 1 面 卓球 1 3 台	H 5. 6	622,000
	北体育館 (天池町)	10,500	鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建一部2階建て 建築面積 1,602 m ² 床面積 1,886.32 m ² バスケットボール 2 面 バレーボール 2 面 バドミントン 6 面 テニス 1 面 卓球 7 台	H 8.11	612,000
	南体育館 (下筋生田町)	11,708	鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋建一部2階建て 建築面積 1,943 m ² 床面積 1,950.54 m ² バスケットボール 2 面 バレーボール 2 面 バドミントン 6 面 テニス 1 面 卓球 6 台 武道室 250 m ²	H14. 5	550,000
	美山トレーニング センター (境寺町)	8,217	鉄骨鉄筋コンクリート造 平屋一部2階建て 建築面積 1,875 m ² 床面積 1,972.83 m ² バスケットボール 1 面 バレーボール 2 面 バドミントン 6 面 ハンドボール 練習用 1 面 フットサル 練習用 1 面 テニス 2 面 卓球 2 0 台	S58. 7	340,000

区分	施設名	敷地面積 (㎡)	施設の概要	竣工 年月	建設当時の 工事費(千 円)
テニスコート	西公園テニスコート (花月1丁目)	14,178	管理棟 鉄骨2階建て 326.20㎡ 砂入り人工芝コート 8面 夜間照明 4面	S48. 8 H28. 3 (改修) S63. 7	17,838 71,010 10,510
	わかばテニスコート (飯塚町) (西体育館隣)	14,824	管理棟 鉄筋コンクリート平屋建て 160㎡ 砂入り人工芝コート 8面 夜間照明 8面	H 5. 6 H29. 2 (改修)	225,000 146,178
	東体育館テニスコート (東郷二ヶ町)	2,132	クレーコート 2面	H10.10	10,503
	北体育館テニスコート (天池町)	3,116	クレーコート 1面 (フットサルコート 1面)	H10.10	11,401
	南体育館テニスコート (下筋生田町)	11,708	クレーコート 2面	H14. 5	
グラウンド (野球)	成和グラウンド (成和2丁目)	12,692	管理棟 鉄筋コンクリート平屋建て 115.5㎡ 軟式野球 1面	S53. 6	53,818
グラウンド (ソフトボール)	開発グラウンド (西開発3丁目)	13,363	管理棟 鉄筋コンクリート平屋建て 140㎡ ソフトボール 2面 夜間照明施設 6基 (1基あたり20灯)	S53. 6	58,528
	町屋グラウンド (町屋2丁目)	10,229	管理棟 鉄筋コンクリート平屋建て 99㎡ ソフトボール 2面	S54. 6	8,880
	米松グラウンド (米松1丁目)	9,590	管理棟 鉄筋コンクリート平屋建て 66㎡ ソフトボール 2面	S56. 6	8,520
	大島グラウンド (大島町)	10,993	管理棟 鉄筋コンクリート平屋建て 121.76㎡ ソフトボール 2面	S61.10 S45.11	8,520
	東公園グラウンド (豊島2丁目)	6,088	ソフトボール・少年野球 1面	S23.10	-
	和田グラウンド (御幸4丁目)	9,598	ソフトボール 2面	S50. 5	-
	高木中央グラウンド (高木中央1丁目)	8,200	ソフトボール 2面	S54. 7	-
	山奥グラウンド (月見4丁目)	6,010	ソフトボール 2面	S54. 9	-
	宮ノ下グラウンド (御所垣内町)	8,918	ソフトボール 2面	S60. 3	37,954
	西藤グラウンド (大宮5丁目)	9,900	ソフトボール 2面	S61. 4	-
江尻グラウンド (下江尻町)	8,069	少年野球・ソフトボール 1面	H 4.12	13,620	
グラウンド (野球)	越廼グラウンド (茶崎町)	11,800	管理棟 鉄筋コンクリート平屋建て 63.5㎡ 軟式野球・硬式野球・少年野球 1面 ソフトボール 2面	S63. 3	96,225
グラウンド (サッカー)	藤岡サッカー場 (原目町)	21,514	管理棟 鉄筋コンクリート平屋建て 54㎡ サッカー (一般) 1面 (少年) 3面	S53. 4 H26. 3 (改修)	86,985

区分	施設名	敷地面積 (㎡)	施設の概要	竣工 年月	建設当時の 工事費(千 円)
学校屋外 夜間照明	森田小学校	10,835	6基(1基あたり44灯)	S54.6	12,140
	川西中学校	9,353	6基(1基あたり35灯)	S54.9	北陸電力(株) 福井支店寄付
	光陽中学校	8,855	6基(1基あたり40灯)	S54.9	北陸電力(株) 福井支店寄付
	足羽第一中学校	15,907	6基(1基あたり44灯)	S55.7 H26.2 (改修)	14,005 12,925
	足羽中学校	16,583	6基(1基あたり44灯)	S54.6	12,470
	鷹巣小中学校	12,280	4基(1基あたり44灯)	S62.8	12,280
	美山中学校	14,586	4基(1基あたり36灯)	S54.7 H12.8	14,600 11,870
	越廼小学校	3,318	4基(1基あたり64灯)	S53.10	41,750
	清水西小学校	7,602	5基(1基あたり35灯)	S53.9	-
	清水南小学校	4,800	4基(1基あたり32灯)	S54.9	-
プール	美山B&G 海洋センター (美山町)	3,376	管理棟 鉄筋平屋建て 135㎡ 上屋付 プール 6コース 25m×13m 幼児用プール 10m×6m	S61.6	110,000
弓道場	弓道場 (市体育館敷地内)	967	木造平屋建て 建築面積 461.37㎡ 床面積 延 449.44㎡ 近的6的・巻ワラ2的	H27.12	181,790
ゲートボール場	わかばテニスコート付設 (飯塚町)		ゲートボールコート 1面		-
	東体育館付設 (東郷二ヶ町)		ゲートボールコート 2面	H12.2	9,288
アーチェリー場	アーチェリー練習場 (豊島2丁目)	550	アーチェリー 4人立50m	S62.1	13,250
トレーニング場	基礎体力づくり トレーニング場 (豊島2丁目)		鉄骨組立ハウス 練習場 103.68㎡ 2面	S57.6	7,400

区分	施設名	敷地面積 (㎡)	施設の概要	竣工 年月	建設当時の 工事費(千 円)
利工テ-リング コース	足羽山コース 文殊山コース	10 k m 10 k m			-
福井市 スポ-ツ公園	野球場 「福井フェニックス スタジアム」 (安田町)	13,588	軟式野球・硬式野球 グラウンド面積 10,223 ㎡ (両翼 100m、センター122m) 収容人員 内野席 4,164 人 外野席 6,000 人 夜間照明施設 6 基	H20. 6	1,295,971
	野球場 「サグランド」 (同上)	9,862	軟式野球・硬式野球(両翼 90m、センター 110m)	H20. 6	123,824
	サッカー場 兼ラグビー場 「福井市 フットボールセンター」 (同上)	30,000	クラブハウス 木造 2 階建て 651 ㎡ サッカー(一般) 2 面 サッカー(少年) 4 面 ラグビー 1 面 夜間照明施設 4 基	H12. 4 R6.3 (改修)	-
	ソフトボール場 兼少年野球場 (同上)	22,000	管理事務所 木造平屋建て 228 ㎡ ソフトボール 3 面 少年野球 1 面	H13. 4	-
	マレットゴルフ場 (同上)	43,220	マレットゴルフ 5 4ホール	H22. 5	-
	グラウンドゴルフ場 (同上)		グラウンドゴルフ 1 8ホール	H15. 4	-
美山アンデ バンドン広場	グラウンド (縫原町)	66,259	管理棟 鉄骨 2 階建て 689 ㎡ 軟式野球・硬式野球 1 面 ソフトボール 2 面 夜間照明施設	H 5. 3	1,197,000
	アイアイドーム (同上)		バレーボール 2 面 テニス 1 面 ゲートボールコート 2 面 砂入り人工芝		
きららパーク	多目的 グラウンド (風巻町)	58,079	管理事務所 399 ㎡ 軟式野球・硬式野球 1 面 ソフトボール 4 面 夜間照明施設	H11. 9 H28.12 (改修)	1,890,000 63,828
	テニスコート (同上)		砂入り人工芝コート 4 面 夜間照明施設	R3.12 (一部改修)	
	ふれあいドーム (島寺町)	9,390	鉄骨平屋建て 1,223 ㎡ バドミントン 3 面 テニス 1 面 フットサル 1 面 ゲートボール 2 面 人工芝	H17.11	241,731

労 政

現在、少子高齢化の進行や若者の県外流出に伴う生産年齢人口の減少による労働力不足が深刻である。本市では、勤労者の生活と雇用の安定を図るだけでなく、U・Iターン希望者や若者、女性、高齢者、障がい者など多様な人材の地元企業への就職促進に取り組むとともに、労働環境の改善や働き方改革に積極的に取り組む企業を支援する。

1 企業への人材確保に向けた支援事業

(1) 地元企業認知度アップ事業

企業の人材確保とU・Iターン就職や地元就職を促進するため、学生等に対し市内企業の認知度を高める事業を実施する。

(2) 多様な人材発掘事業

障がい者や若者・就職氷河期世代及び子育て中の女性等の多様な人材の確保を図るため、求職者に向けたセミナー等の開催や、市民や企業に向けた雇用啓発事業を実施する。また、事業主への雇用奨励金を支給する。

(3) 働く環境整備事業

中小企業従業員の福祉の増進と雇用の安定を図るため、中小企業退職金共済制度等の掛金の一部を事業主に助成する。また、働きやすい職場環境づくりを推進するため、企業を対象とした啓発セミナーを開催する。

(4) 中小企業労働相談事業

雇用対策や職場環境の改善を図るため、中小企業雇用促進相談員2名を配置し、企業の抱える課題等の情報収集や労働相談を行う。

(5) 未来を拓く奨学金返還支援事業

市内中小企業への就職を促進し、人材確保を図るため、貸与型の奨学金を返還しなければならない若者に対し、奨学金の返還を支援する。

2 労働者の生活支援事業

勤労者の生活の安定と福祉の向上を図るため、低利で融資を行う金融機関にその原資を預託する。また、勤労者が住宅資金を借り入れた場合の利子を補給する。

3 就業機会確保推進事業

高齢者が自身の経験や技能を生かせる就業の場を確保し、健康増進及び生きがいづくりを推進するため、(公社)福井市シルバー人材センターを支援する。

4 技能振興事業

優れた技能を有し、後継者育成及び本市の産業発展に貢献した方を技能功労者として表彰し、技能功労者の技能と仕事の魅力を広く市民に周知するため、巡回パネル展を開催する。また、市民が職人の技に関心を持ち、技能の継承及び後継者の育成を図るため、ものづくり実演・体験イベントを開催する。

福 井 競 輪 場

競輪事業は、自転車競技法に基づき、自転車その他の機械の改良及び輸出の振興、機械工業の合理化、体育事業その他の公益の増進を目的とする事業の振興に寄与するとともに、地方財政の健全化を図るため実施している。福井競輪においては昭和25年の開設以来、収益金の一部を一般会計に繰り入れ、学校教育、住宅建設、下水道整備、道路建設等の公共事業の振興に寄与しており、本市における貴重な自主財源となっている。

【所在地】	福井市明里町2番65号
【所有管理施行者】	福井市（昭和25年4月6日総理府告示第81号）
【設置者】	福井市（敷地所有者 福井市）
【登録】	昭和25年5月26日

1 施設概要 【令和6年4月1日現在】

（1）敷 地

29,411.32㎡

（2）駐 車 場

市 有 地 13カ所 35,978.63㎡ 借 上 地 3カ所・5筆 933.17㎡

（3）収 容 人 員

4,701人（内 特別観覧室 60人 サイクルシアター 264人）

（4）観 客 席

メインスタンド 947㎡ 第1北スタンド 540㎡

サイクルシアター 1,138㎡ 特別観覧室 279㎡

中央客溜り（屋根面積） 2,058㎡

（5）競 走 路

周 長 400m 設計速度 15.00m / s

軸 の 長 さ 長軸 156.582m、短軸 80.444m

幅 員 ホーム 10.5m、バック 9.0m、センター 7.5m

傾 斜 角 直線部 2° 51' 45"、センター部 31° 28' 37"

退 避 路 1.1m 内周路 2.0m、曲線種類 マッコーネル

フィールド内 芝生植樹

（6）入 場 券 発 売 所

サイクルシアター入口 座席指定券発売機 2台

（7）車 券 発 売 所

第4投票所 17窓 前売投票所 9窓 特別観覧室 3窓 サイクルシアター 12窓 計 41窓（発払機含む）

（8）発 売 機 器

自動発売機（17窓分） 自動発払機（18窓分）

有人発売機（1窓分） 有人発払機（5窓分）

(9) 車券払戻所

前売払戻所	9窓(手払 2、自動 7)
第4払戻所	17窓(手払 1、自動 16)
特別観覧室	3窓(手払 1、自動 2)
サイクルシアター	12窓(手払 2、自動 10)
計	41窓(発払機含む)

(10) サービス施設

湯茶接待所	5カ所	手荷物預り所	2カ所	食堂・売店	2カ所
救護所	1カ所	トイレ	9カ所		

2 主な施設整備・改修状況

整備・改修内容	竣工(購入)年月	事業費(千円)
選手宿舎(福井サイクルハウス)新築工事	平成6年3月	1,155,660
サイクルシアター新築工事	平成10年3月	680,000
中央コンコース・入場門整備・ゲート・便所新築及び選手管理棟等増築工事	平成16年3月	219,000
バンク補修工事	平成18年5月	22,000
特別観覧室改修工事	平成19年5月	70,000
選手管理棟大規模改修工事及び選手宿舎改修工事	平成20年3月	96,000
客溜空調機改修工事(委託)	平成21年3月	20,630
バンク補修工事	平成21年11月	17,640
中央スタンド棟・中央コンコース屋根塗装改修工事	平成21年12月	17,140
備品:投票コンバータ購入	平成23年2月	12,910
バンク補修工事	平成25年11月	21,850
競輪場中央スタンド棟耐震補強及び改修工事	平成29年7月	358,533
バンク補修工事	平成30年7月	30,844
外周塀改修工事	平成30年9月	68,299
オープスタジオ整備(機器移設含む)	令和2年3月	32,552
選手管理棟小荷物昇降機設置工事	令和3年3月	10,261

3 従業員数と報酬・手当

令和6年4月1日現在

従業員	52人(車券発売関係 42人 施設管理 4人 専門官 1人 企画官 1人 宿舎管理人 2人 治安警備員 1人 事務職 1人)
報酬	日給平均 7,514円
手当	期末・勤勉手当(夏期・年末)年4.5か月分 週4日以上勤務が対象 (令和6年度実績 令和6年6月28日支給 令和6年12月10日支給予定)

4 事業実績状況

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度		
開催回数		13回	15回	15回		
開催日数		55日	64日	65日		
入場者数		24,045人	21,573人	21,230人		
車券売上額		19,186,534,800円	21,027,364,300円	22,577,421,900円		
一日平均	入場者数	437人	337人	327人		
	売上高	348,846,087円	328,552,567円	347,344,952円		
経常	歳入	車券売上金	19,186,534千円	21,027,364千円	22,577,422千円	
		その他	1,087,725千円	1,287,380千円	1,141,495千円	
		計	20,274,259千円	22,314,744千円	23,718,917千円	
	歳出	総務費	97,938千円	131,408千円	110,275千円	
		開催事業費	賞金	604,659千円	683,809千円	715,535千円
			従業員人件費	129,581千円	107,723千円	108,234千円
			払戻金	14,496,128千円	16,087,276千円	16,944,412千円
			競輪振興法人交付金	377,706千円	409,584千円	444,824千円
			その他	3,952,993千円	4,034,917千円	4,327,991千円
		公営競技納付金	87,003千円	43,447千円	99,318千円	
一般会計繰出金		150,000千円	230,000千円	330,000千円		
計	19,877,394千円	21,728,164千円	23,080,589千円			
翌年度繰越金	396,865千円	586,581千円	638,328千円			

5 過去の最高記録

種 別		年 月 日	記 録
車券(自 売場 上分) 高	1 開催最高(特別)	平成12年8月31日～9月3日	22,432,651,700円
	1 開催最高(普通)	昭和54年12月22日～昭和55年1月4日	1,997,823,700円
	1 日最高	平成12年9月3日	8,162,007,900円
	1 レース最高	平成12年9月3日	2,312,348,100円
入場者	1 開催最高	昭和47年1月3日～16日	71,767人
	1 日最高	昭和49年1月3日	21,012人
最	高払戻金	平成15年4月12日	2,340,220円